



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東
 コード番号 9832 URL https://www.autobacs.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 喜夫巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 高野 浩之 TEL 03-6219-8787
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	49,070	△2.2	285	△47.3	593	△6.6	359	19.7
2018年3月期第1四半期	50,169	5.2	542	62.5	636	17.9	300	42.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 388百万円 (23.1%) 2018年3月期第1四半期 315百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	4.35	—
2018年3月期第1四半期	3.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	183,055	125,253	68.2	1,512.44
2018年3月期	187,354	127,352	67.7	1,537.59

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 124,791百万円 2018年3月期 126,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	1.3	9,000	15.5	10,000	21.6	6,800	25.8	82.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	84,050,105株	2018年3月期	84,050,105株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,540,032株	2018年3月期	1,540,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	82,510,026株	2018年3月期1Q	82,511,962株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年3月期より、経営資源の配分および業績評価に関して、5つの事業に変更いたしました。報告セグメントとしては、各事業の性質と規模を考慮し、「国内オートバックス事業」「海外事業」「ディーラー・BtoB・ネット事業」の3つに区分いたしました。

また、前連結会計年度において営業外収益および販売費及び一般管理費で表示しておりましたクレジット事業等の収益および費用は、営業活動の拡大を行うこととなったため、売上高および売上原価に含めて表示することとし、従来、「その他」として表示していた事業区分に含め、新たに「その他の事業」として報告セグメントに追加し、4区分といたしました。

なお、以下の文中における数値および前年同期比は、これらの変更後のものに基づき、記載しております。

経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の自動車関連業界の動向といたしましては、国内における新車販売台数および中古車登録台数がそれぞれ前年実績を下回っており、自動車関連用品の需要も低調で、前期と比較して厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは2020年3月期を最終年度とする「2017中期経営計画」において、「国内オートバックス事業の再生」と「将来に向けた成長ドライバーの育成」を軸に、収益の拡大と資産効率の向上のための施策に注力しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.2%減少の490億70百万円、売上総利益は前年同期比5.2%減少の146億86百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比3.7%減少の144億円、営業利益は前年同期比47.3%減少の2億85百万円となりました。経常利益は前年同期比6.6%減少の5億93百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19.7%増加の3億59百万円となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

〔国内オートバックス事業〕

当第1四半期連結累計期間における日本国内のオートバックスチェーン（フランチャイズチェーン加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店2.7%の減少、全店2.5%の減少となりました。

国内オートバックスチェーンでは、タイヤにおいてプライベートブランド商品や低価格帯商品の品揃えを強化し、TVCMや販促施策の実施などを行いましたが、全国的に夏タイヤへの履き替え需要が2018年3月に多く発生したことなどが影響し、売上が伸び悩みました。カーエレクトロニクスに関しては、カーナビゲーションは新商品を中心に売上が堅調であったことに加え、昨年10月以降、運転時の安全に対する意識が高まり、全国の各店舗でドライブレコーダーの品揃えを強化した結果、売上単価および台数ともに好調に推移いたしました。さらに、プライベートブランド「AQ.（オートバックスオリティ.）」やクルマに関わるライフスタイルを提案するブランド「JKM（ジェイケーエム）」「GORDON MILLER（ゴードンミラー）」のラインアップを増やし、商品の魅力度を向上させました。

また、今年3月には日本初のクルマを通じたライフスタイルショップ「JACK & MARIE（ジャックアンドマリー）」のリアル店舗「JACK & MARIE横浜ベイクォーター」を横浜の商業施設内に outlets するとともに、イベントへの出展を行い、ブランドの認知向上に努めました。

前期から引き続き、店舗における接客状況の分析、売場における人員配置や時間管理などのオペレーションの改善を進めるとともに、売場やピットなど、ハード面のリノベーションも進めております。

車検・整備は、車検を受けていただいたお客様向けに提供するサービス「安心3つ星補償」で他社との差別化を図り、次回車検予約獲得の推進、15分受け入れ点検などのピットのオペレーション改革を行いましたが、車検対象の車両台数が少なかったこともあり、車検実施台数は前年同期比9.4%減少の約14万台となりました。

車買取・販売は、中古車の買取強化とカーズ加盟店のコスト削減のため、2018年3月末にカーズフランチャイズチェーン契約内容の見直しを行いました。また、前年度に別のセグメントにあった車買取事業を当セグメントへ移管いたしました。TVCMなど販促活動に加え車買取専門店の店舗数が増加したことなどにより、国内オートバックス事業における総販売台数は前年同期比1.7%増加の約6,800台となりました。

出退店は退店5店舗であり、2018年3月末の603店舗から598店舗となりました。なお、6月末のカーズ加盟店舗は前年度末と変わらず424店舗となりました。

これらの結果に加え、2018年3月期においてオートバックスチェーンの店舗を運営する当社連結対象子会社をフランチャイズチェーン加盟法人に事業譲渡したこと、前期に低下させていた当社からの店舗の仕入原価率を通常に戻したことや、物流システムに関わる費用が減少したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の国内オートバックス事業の売上高は407億97百万円（前年同期比4.3%減）となり、セグメント利益は23億31百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は25億58百万円(前年同期比20.3%増)、セグメント損失は2億12百万円(前年同期は1億51百万円のセグメント損失)となりました。小売・サービス事業として、タイにおいては、前期に引き続きPTGグループのガソリンスタンドモールへの小型店の出店を積極的に行っており、売上が増加いたしました。フランスにおいては、フランチャイズチェーン加盟法人が運営していた2店舗を現地子会社が直営化したことなどにより連結対象店舗が2店舗増加し、前期比で売上が増加したものの、洪水などの影響により営業損失が拡大いたしました。また、シンガポールで行っているカーシェアリングの車両に対するメンテナンスサービスは顧客が増え、売上が増加いたしました。卸売事業では、中国において、事業拡大に向けた経費の増加に加え、日本のオートバックスチェーン向け商品の粗利率が低下したことから減益になりました。一方ロシア向けのオイル販売や、アセアン地域における現地ホームセンターなどへの売上が増加いたしました。

海外における出退店は、新規出店が4店舗、退店が1店舗であり合計44店舗になりました。

〔ディーラー・BtoB・ネット事業〕

ディーラー・BtoB・ネット事業における売上高は75億37百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント損失は4億67百万円(前年同期は1億61百万円のセグメント損失)となりました。輸入車ディーラー事業は各拠点の営業体制を強化し、営業活動に尽力いたしました。さらに、2017年11月に東京都練馬区の輸入車ディーラー2拠点が増えたことにより、売上および利益が増加いたしました。BtoB事業は、新たな商品の開発と販売先の拡大を推進しており、売上高は増加いたしました。また、洗車用品・アクセサリー類の収益改善が進みました。しかしオイルの原価と物流コストの高騰が引き続き影響し、営業利益は前期比で減少いたしました。また、卸売事業を行っているコアーズインターナショナル株式会社およびパルスター株式会社から2018年8月に設立予定の新会社へ事業を譲渡、集約し、さらなるBtoB事業の拡大に向けた準備を進めております。ネット事業は、品揃え、チャネル、プロモーションなどの再構築に取り組んでおり、当第1四半期においては、外部モールを3チャネルから1チャネルに集中させ、効率化を進めました。

〔その他の事業〕

その他の事業における売上高は5億48百万円(前年同期比8.5%減)、セグメント利益は1億7百万円(前年同期比24.0%減)となりました。これは主に保険に関わる手数料収入の減少によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,069	40,805
受取手形及び売掛金	23,600	26,056
商品	16,419	17,547
未収入金	21,972	14,232
未収還付法人税等	32	175
その他	10,693	10,737
貸倒引当金	△92	△90
流動資産合計	111,695	109,464
固定資産		
有形固定資産		
土地	22,627	21,668
その他（純額）	18,599	18,072
有形固定資産合計	41,226	39,741
無形固定資産		
のれん	1,170	1,125
その他	4,879	4,701
無形固定資産合計	6,050	5,826
投資その他の資産		
差入保証金	14,181	14,109
その他	14,254	13,950
貸倒引当金	△54	△37
投資その他の資産合計	28,381	28,023
固定資産合計	75,658	73,590
資産合計	187,354	183,055
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,710	22,295
短期借入金	3,252	4,460
未払金	12,626	10,589
未払法人税等	3,014	287
ポイント引当金	237	178
その他	6,582	6,674
流動負債合計	46,425	44,486
固定負債		
長期借入金	2,190	2,017
引当金	76	66
退職給付に係る負債	1,051	1,064
資産除去債務	2,110	2,101
その他	8,147	8,066
固定負債合計	13,575	13,315
負債合計	60,001	57,802

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,298	34,298
利益剰余金	59,639	57,522
自己株式	△2,773	△2,773
株主資本合計	125,163	123,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,924	2,003
為替換算調整勘定	470	415
退職給付に係る調整累計額	△692	△674
その他の包括利益累計額合計	1,703	1,744
非支配株主持分	486	462
純資産合計	127,352	125,253
負債純資産合計	187,354	183,055

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
売上高	50,169	49,070
売上原価	34,672	34,383
売上総利益	15,497	14,686
販売費及び一般管理費	14,954	14,400
営業利益	542	285
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	34	39
持分法による投資利益	64	111
情報機器賃貸料	178	178
その他	406	383
営業外収益合計	703	728
営業外費用		
支払利息	10	9
情報機器賃貸費用	221	202
固定資産除却損	205	35
その他	172	171
営業外費用合計	610	420
経常利益	636	593
税金等調整前四半期純利益	636	593
法人税、住民税及び事業税	255	119
法人税等調整額	75	124
法人税等合計	330	244
四半期純利益	305	349
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	300	359
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	4	△9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	79
為替換算調整勘定	122	△54
退職給付に係る調整額	—	17
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△4
その他の包括利益合計	10	39
四半期包括利益	315	388
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	401
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(表示方法の変更)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」および「販売費及び一般管理費」に含めておりましたクレジットカード事業等の収益および費用は、近年多様な金融決済手段の登場や、国内オートボックス事業において、独自のポイント制度から共通のポイント制度へ移行したことなどを機に営業活動の拡大を行うこととなったため、クレジットカード事業等の重要性が増し、報告セグメントに含めることとなったことから、当第1四半期連結会計期間より「売上高」および「売上原価」に含めて表示することに変更いたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書において「営業外収益」の「その他」および「販売費及び一般管理費」に表示しておりました187百万円および22百万円は、「売上高」187百万円および「売上原価」22百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート ボックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ ネット事業	その他の 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,305	2,075	5,350	438	50,169	-	50,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	318	52	1,686	161	2,218	△2,218	-
計	42,623	2,127	7,036	600	52,388	△2,218	50,169
セグメント利益又は 損失(△)	2,287	△151	△161	141	2,116	△1,573	542

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,573百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ ネット事業	その他の 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,438	2,495	5,723	413	49,070	-	49,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	63	1,814	135	2,372	△2,372	-
計	40,797	2,558	7,537	548	51,442	△2,372	49,070
セグメント利益又は 損失(△)	2,331	△212	△467	107	1,759	△1,473	285

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,473百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「その他」と表示しておりました事業区分は、クレジットカード事業等の営業活動の拡大を目的とした会社組織の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、「その他の事業」として報告セグメントに含めることといたしました。

また管理区分の見直しを行ったため、当第1四半期連結会計期間より、「国内オートバックス事業」に含まれていたネット関連販売事業を「車・ディーラー・BtoB事業」に、「車・ディーラー・BtoB事業」に含まれていた車買取専門店事業を「国内オートバックス事業」に、それぞれ事業の所属セグメントを変更いたしました。この所属セグメントの変更に伴い、報告セグメントの名称を「車・ディーラー・BtoB事業」から「ディーラー・BtoB・ネット事業」に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。